

エコアクション21

令和 3年版

環境経営レポート



対象期間
発行月日

令和2年7月1日～令和3年6月30日
令和3年12月吉日


エコアクション21[®]
認証番号 0008125

 佐々勇建設株式会社

目 次

		ページ
I	挨拶	1
II	環境方針	1
III	事業概要&認証登録範囲	2
IV	実施体制	2
V	環境管理目標	3
V-2	目標数値設定書	4
VI	令和2年度環境実績	5
VII	環境活動計画の取組結果と 次年度の取り組み内容	6~7
VIII	環境関連法規の遵守状況確認及び 評価、並びに違反、訴訟等の有無	7
IX	写真記載	8
什	代表者による、見直し指示	9
什一	全体評価	9

I 挨拶

企業は社会への貢献を目標のひとつとし、健全で持続的な成長をしていくことが重要な使命です。

地域と環境との共生をめざす

II 環境方針

【企業理念】

緑豊かな山々、そして多くの生き物といつまでも共生できますように。
木のぬくもりや、温かさは私たちの生活を豊かなものにしてくれます。
豊かな自然回復の為に植林推進を行い、ものづくりの原点となる森林資源の見直し、さらに上手に循環利用することで再生が可能であり、次世代に残すなど、これからの産業の活性化に努めます。

【環境保全への行動指針】

我が社で働く一人一人の活動において多くの環境負荷があることを認識しすべての業務において、次のことを意識しながら作業する。

1、エコ環境促進運動

- ◎ エコドライブ運動
- ◎ エコワーク運動
- ◎ エコライフ運動
- ◎ 森林エコサイクル運動

2、事業活動に関する法規制は、確実に遵守することを誓約致します。

3、省エネルギー・節電・節水・産業廃棄物等の削減に取り組みます。
又、地域活動、環境保全活動への参加、環境活動レポートの公表など、地域との環境環境コミュニケーションに努めます。

4、地域の環境保全に資する為、環境に配慮したクリーン事業活動に努めます。
建設現場における騒音・振動・粉じん等の低減化、適正な排水処理。

5、安全運転・車両管理等の取り組み、教育を通して社員の資質を高めます。

6、地域社会に貢献する企業をめざし、社会貢献活動に努めます。

7、環境経営の継続的な改善に努めます。

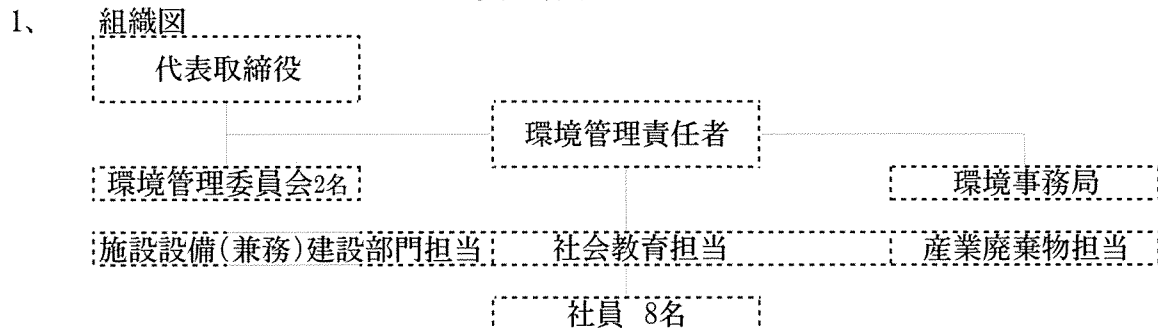
改正日 令和 3年 1月 25日

佐々勇建設株式会社
代表取締役 佐々木 保

Ⅲ 事業概要&認証登録範囲

- 1、 名称及び代表者名
佐々勇建設株式会社
代表取締役 佐々木 保
- 2、 事業所所在地
本社 岩手県宮古市上鼻二丁目1番17-2号
TEL 0193-62-3917 FAX0193-64-0048
資材倉庫 岩手県宮古市上鼻二丁目1番17-1号
- 3、 環境管理責任者及び事務局、連絡先
環境管理責任者 加藤 三郎 メール:s-kato@sasayu.jp
環境事務局 鈴木 洋宣 メール:ksasayu@cocoa.ocn.ne.jp
- 4、 事業活動の内容
□建設業 岩手県知事 許可(特-29)第416号 建築 大工 内装仕上
岩手県知事 許可(特-31)第416号 解体
岩手県知事 許可(般-29)第416号 土木 とび 土工
□一級建築設計事務所 岩手県知事登録 う(2008) 第1430号
- 5、 □資本金 20,000千円
□売上高 872,000千円 (令和3年 6月期)
□延面積 本社、加工場・資材倉庫含み≪2005.7㎡≫
□社員 16名
※全サイト・全組織・全事業活動が、認証登録範囲です。

Ⅳ 実施体制



2、 役割・責任・権限

役職	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 管理経営システムの実施に必要な設備 費用・時間・技能・技術者を準備 代表者による全体の評価と見直し 環境管理責任者を任命 方針の策定及び見直しと従業員への周知 課題とチャンスの明確化 実施体制の構築
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> 委員長は社長とし、環境管理責任者が招集する 環境管理責任者の提案を審議し決定事項を部門責任者で実行する 計画の進捗状況、ガイドラインの適合状況を審査し、決定事項を是正する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理システムの構築、実施、管理 環境活動の取り組み結果を代表者及び環境管理委員会へ報告
管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開、データ集計・とりまとめ、文章記録管理
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> 担当部門に付いて環境経営システムを実施し、維持する 省資源・省エネ・節水等の奨励・実施・確認・是正 従業員に対する教育訓練の実施
全社員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と取組の重要性を自覚し、能力向上に努める 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加

V 環境管理目標

NO	活動例	手段	活動によるメリット
1	二酸化炭素排出量の削減	エコドライブやアイドリングストップの徹底。ICT導入	エネルギー使用効率の向上 コストの削減 燃費改善と軽油使用量の削減
2	建設廃棄物排出量の削減及び再資源化率の向引き上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3R・ゼロエミッション施工の推進、仮設材等の再利用 ・ 建設廃棄物の分別及び再資源化など 高気密住宅、レベルQ1の勧め 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資源使用効率の向上 ・ 生産性もしくは作業効率の向上 ・ 再資源化率の向上 ・ コストの削減
3	施工・販売提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善	環境改善に資する製品・サービスの開発・販売（施工技術・ソフトウェアなど） 施工技術、建築物、工作物等の環境性能の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・顧客満足度の向上 ・差別化によるシェアの拡大
4	SDGsの基本理念 コンプライアンス研修	持続可能な開発目標 社会的責任や公共的使命	みんなの未来書きあらわされる 事業活動に遂行、社会的責任

必修項目〈ムリ・ムラ・ムダ〉の実践

環境経営目標は、実施可能な範囲で適切に設定することが重要です。

環境管理責任者：加藤三郎

V-2 環境目標数値設定書

項目		2019年度 (令和1年度)	2020年度 (令和2年度)	2021年度 (令和3年度)	2022年度 (令和4年度)				
EA21の認証と登録		基本年度							
地域環境活動への参加 (地域の清掃活動、など)		基本全員参加	削減率	基本全員参加	削減率				
CO2 排出量(Kg-CO2)		50922.5	50,638.7	53,487.2	53,054.2				
二酸化炭素排出係数		電力0.523・ガソリン2.32・軽油2.62・灯油2.49・LPガス3.00							
電力使用量		10,824	1.0	10,716	1.5	10662	2.0	10608	
化石 燃料 量	ガソリン	L	17,448	0.5	17,360	1.0	17,274	2.0	17,099
	軽油 (増車)	L	1,511	0.5	1,503	1.0	※2 2680.5	1.0	2,653.4
	灯油	L	304	1.0	302	1.5	299.4	1.5	299.4
	LPGガス	kg	22.7		22.7		22.7		22.7
水使用量		m3	73.0		73.0		73.0		73.0
一般廃棄物		kg	540	1.0	534.6	1.5	531.9	1.8	530
産業廃棄物 (再資源化率)		%	100%		100%		100%		100%
エネルギー 使用量	購入電力	MJ	106,400	1.0	105,336	1.5	104,804	2.0	104,272
	化石燃料	MJ	673,692	0.5	670,324	1.0	666,955	1.5	663,587
	新エネルギー	MJ	79.2		79.2		79.2		79.2

※1 令和1年度を基準値として、以降の各目標値は基準値に対しての削減目標値を示します。

※2 二酸化炭素排出量の係数は、2019年度実績の東北電力㈱の実排出係数0.523kg-CO2として設定。各年度において係数値が変わることもありえるので今後各年度で、係数値をその都度確認すること。
現場車両使用量増により、軽油の使用量を変更し、基準値2707.6Lとする

※3 SDGsの基本理念『誰ひとり取り残さない』持続可能な開発目標

VI 令和2年度環境実績

2.環境実績

□二酸化炭素の排出量

項目	令和2年度目標	令和2年度実績	削減率	結果
	令和2年7月～令和3年6月			
排出量(kg-CO2)	50,638.7	50,696.4	微増	△

□電力使用量

項目	令和2年度目標	令和2年度実績	削減率	結果
	令和2年7月～令和3年6月			
kwh	10,716	8,599	20%	○

□ガソリン・軽油・灯油の使用量

項目	令和2年度目標	令和2年度実績	削減率	結果
	令和2年7月～令和3年6月			
ガソリン(リットル)	17,360	16,727.6	3%	○
軽油(リットル)	1,503	2,427.6	-62%	△
灯油(リットル)	302	390	-29%	△

□ガス使用量

項目	令和2年度目標	令和2年度実績	削減率	結果
	令和2年7月～令和3年6月			
kg	22.7	19.9	12%	○

□水使用量

項目	令和2年度目標	令和2年度実績	削減率	結果
	令和2年7月～令和3年6月			
m3	73	78	微増	△

□一般廃棄物の排出量

項目	令和2年度目標	令和2年度実績	削減率	結果
	令和2年7月～令和3年6月			
kg	534.6	370.0	30%	○

□産業廃棄物

項目	令和2年度目標	令和2年度実績	削減率	結果
	令和2年7月～令和3年6月			
再資源化率%	100	99.5	微減	○

□エネルギー使用量

購入電力	MJ	106,400	84,528.0	21%	○
化石燃料	MJ	673,692	686,821.0	-19%	△
新エネルギー	MJ	79.2	79.2		○

- 現状と対策
- 1、令和2年太陽光発電導入(22.0kw)による軽減効果が見える。
 - ※売上高前年比40%強増加に伴い部所部門加算。
 - 2、工事現場へ水タンク設置（工事現場水道設備無し）
 - 3、2tトラック(軽油)稼働増による。
 - 4、現場仮設事務所設置(冬期間)暖房用として使用

いずれにしても、ムリ・ムラ・ムダ、3無の継承持続すること

Ⅶ 環境活動計画の結果と、次年度の取り組み内容

1 二酸化炭素の削減

イ)電力・灯油の削減

- ①暖房は、室内温度20～24℃を目安として、使用していない場所は暖房を止める。
- ②冷房は、室内温度26～28℃を目安として、使用していない場所は冷房を止める。
- ③照明は、打合せなど必要な室内のみ点灯し、休憩時間、昼休みは消灯する。
- ④室内冷暖房機(エアコン)内のフロンガス使用、2ヶ月に1回定期点検する。

ロ)自動車燃料の削減

- ①車両使用時はエコドライブを心がける。
- ②駐停車時はアイドリングストップを行う。
- ③定期的にタイヤの空気圧を点検する。
- ④行き先を確認し、最短ルートを走行する。

2 資源の省力化

- ①使用済み用紙の裏面を検査成績書やメモ紙などに再利用する。
- ②ミスコピーなどは裏面を再利用する。
- ③事務消耗品の購入はエコマーク付きを優先する。
- ④一般並びに産業廃棄物は分別し、リサイクルする。
- ⑤解体工事は次年度より激減傾向ではあるが、できる限りの分別、再資源化に取り組む。

3 節水の励行

- ①手洗い場などには、節水の啓発の表示を行い使用量を抑制する。
- ②敷地内にての散布は極力節水に努める。
- ③ムダ・ムラ・ムリの使用は限度内にて。

4 環境活動の参加

- ①マスク・手洗い等の率先
- ②周辺の清掃活動を行う。
- ③地域貢献、植林・植樹

5 その他の活動

- ①コロナ対策、環境配慮商品の購入。
- ②不良個所を減らし、材料のムダや排気量を減らす。
- ③SDGs、地球環境12～15への取り組み
- ④各種の危険予知対策と訓練。

※ 評価と今度の課題

化石燃料など具体的なエネルギー削減策が必要だが当社を取り巻く受注動向、受注予測を勘案した上で経済効果のある削減策と目標値の設定が課題である。カーボンニュートラル、温室ガスの排出。脱炭素社会の実現を目指す。

6, 令和2年7月～令和3年6月までの活動

1.定例安全会議	毎月1回、月末に実施。	(全社員にて)
2.定例部課長会	毎月1回、月末に実施。	(社長以下7名にて)
3.安全大会	感染予防対策の為に中止とする	
4.社会奉仕	道の日IN宮古(クリーン作戦)	宮古市
5.社会奉仕	市内バイパスゴミ拾い	県、建設業協会
6.社会貢献	八木沢川の稚魚放流	宮古市

上記以外、コロナ感染予防対策に付き、予定行事中止

※太陽光パネル設置状況

《8ページに写真記載》

7, 令和3年7月～令和4年6月までの活動計画

1.定例安全会議	毎月1回、月末に実施。	(全社員にて)
2.定例部課長会	毎月1回、月末に実施。	(社長以下7名にて)
3.社員研修旅行	7月～9月のいずれか。近代建築物の視察など。	
4.安全大会	7月 佐々勇建設株式会社・建勇会と合同で。	
5.クリーン大作戦	8月～9月 建設業協会と合同にて。	
6.緊急時対策の訓練	9月～12月 緊急時、対策訓練の実施。	
7.社会勉強	12月 エコプロダクツ 2020。	
8.清掃活動	4月 国立公園・市内周辺の清掃。	
9.植林・植樹祭	5月～6月 市内公園など、公共施設への社会貢献。	
10.自然塾	年間3回以上出席。環境基礎講座を学ぶ。	

VIII 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

令和3年、6月末現在関係当局からの違反等の指摘、住民からの苦情・訴訟等に付いて、有りませんでした。

※ 平成22年10月作成、当社コンプライアンス・マニュアルに沿って活動範囲内(座長・腹子常務)・各現場担当者は毎月1回以上の安全対策・産業廃棄物処理分別に伴う確認、パトロールを実施中。

※ 令和3年、新たな年の始まり、気を引き締め安全作業に従事し、無事故・無違反に努めさらなる明るい職場作りを目指します。

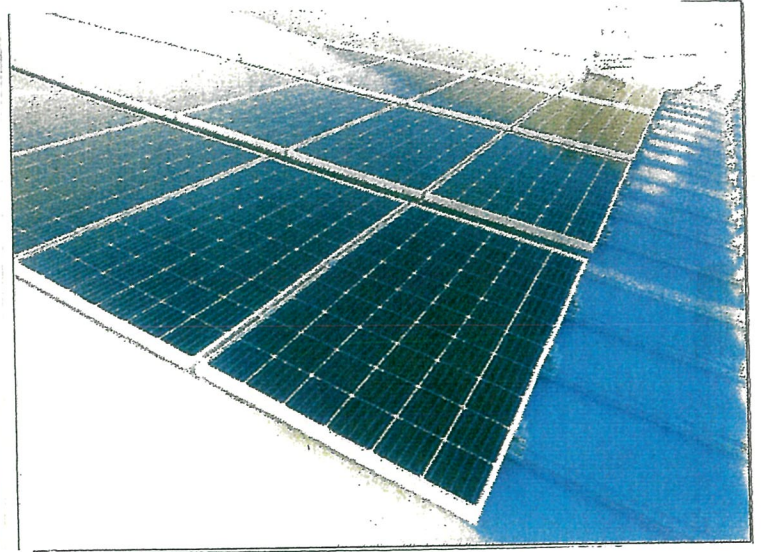
※ エコドライブ、常に安全運転を心がけましょう。
《無事故・無違反》に努める

【写真記載】

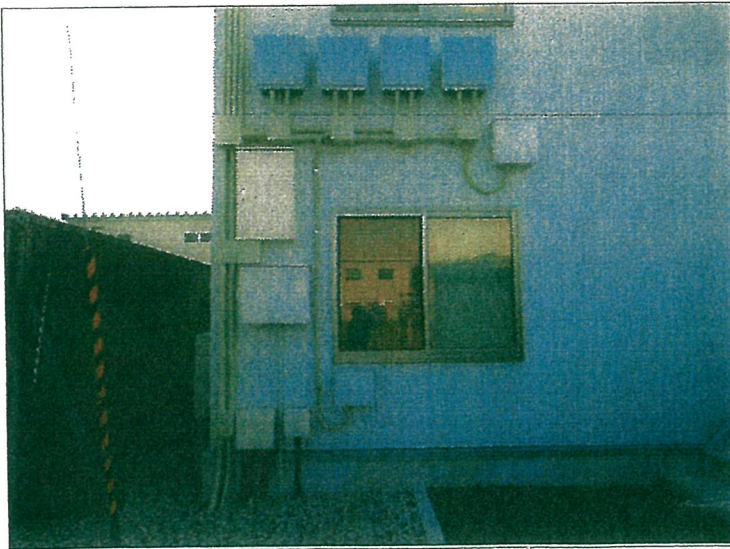
太陽光パネル設置



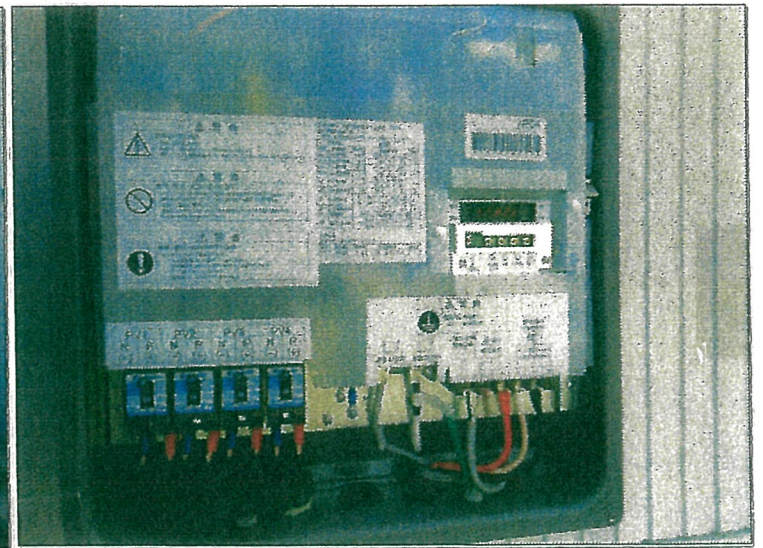
社屋、屋根



倉庫、屋根



計器・取付



パワコン直流接続端子台

※《主な実施活動》

- ・ 節電シールなど意識の向上すべく掲げてはいるが、少しは浸透している、さらなる進歩、実行すること。
- ・ エコ住宅化が、だいぶ浸透している、住んでよし暖かい家造りを目指そう。
- ・ 安全第一を最優先して「施工及び安全」を計画し、無事故・無災害の達成を図る。
- ・ 労働・通信災害は予防可能であり「施工計画」と一体のものとして「安全衛生管理計画」を実施し、事故の撲滅を期することを基本とする。
- ・ 各現場における「KY活動の活性化」一人一人の安全意識の向上を図り常に法令遵守の上、安全で快適な職場環境を実現する。

※《今後の方針》

- ・ エコ・ワーク+3ムの推進運動の効果の継続
- ・ エコアクション21の基本方針の継続
- ・ 環境に関する基礎知識や、岩手の環境の現状から、活動計画のノウハウを学ぶ。
- ・ 問題の要因をしっかりと分析し、データの取組み、予防策の立案等、立ち上げる。
- ・ 社会貢献・社会奉仕等〃の継続
- ・ 植樹・植林・植栽の継続しながら、心豊かな町造りに全員参加。

什 代表者による見直し指示と全体評価

※《見直し指示》

環境方針

評 価	内容を理解して行動している
改善及び指示	2017年度版ガイドラインを基に継続

環境目標

評 価	目標値についてはよくなっている
改善及び指示	このまま継続を

環境活動計画及び環境経営システム

評 価	有給休暇、残業等会社の方針に近ずいている
改善及び指示	有給休暇が増え残業は減少、このまま継続

その他

評 価	社会奉仕等、コロナ感染予防によりできなかった
改善及び指示	次年度は貢献したい

什一 ※《全体評価》

取り組みを始めて10年になる、初心に帰り「地域と環境との共生」のスローガンのもと、少しずつ目標に向け活動してほしい

地域と環境との共生をめざす

特定建設業・一級建築士事務所

佐 佐々勇建設株式会社

〒 027-0085 岩手県宮古市上鼻二丁目1番17-2号
TEL 0193-62-3917 ・ FAX 0193-64-0048